

■東京支部活動の報告

①平成30年度 主な活動計画について

- 10月20日:支部総会&懇親会 場所:損保会館 開場10時、開会10時30分
 10月27日:和歌山大学同窓会第30回総会&学生交流会(和大ホームカミングデー)In 和歌山大
 11月下旬:名草会 場所:高野山東京別院 <http://www.musubidaishi.jp/access/index.html>
 1月26日:人生塾「ヨット競技の魅力とパリオリンピック出場に向けて」(仮)

②東京支部総会&懇親会開催のご案内

今年も「楽しい」「役に立つ」「参加意識が持てる」企画を揃えています。支部総会は大学の状況を知る年に一度の機会であり、今年度は大学が今もつとも注力している「グリーンイノベーションプログラム」に関する講演を予定しています。皆さまお誘い合せの上、是非多数ご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 日 時 : 平成30年10月20日(土)10:00受付開始、 10:30 ~ 14:30
2. 会 場 : 損保会館2階大会議室 東京都千代田区神田淡路町2-9 (電話)03-3255-1299
3. 会 費 : 5千円(新卒者:大66期は無料、卒業後10年以内の若手:大57~65期および女性会員は4千円)
4. 講演会:「食農総合研究所紹介~全学横断組織としての地域貢献(仮題)」
 講 師 : 和歌山大学食農総合研究所副所長・専任教授 岸上光克 様
5. 懇親会:大学30期幹事団開会宣言、来賓挨拶、乾杯、歓談 etc.

各種催し(和歌山あるあるクイズ大会(仮)、近況報告、学歌/寮歌斉唱 etc.)

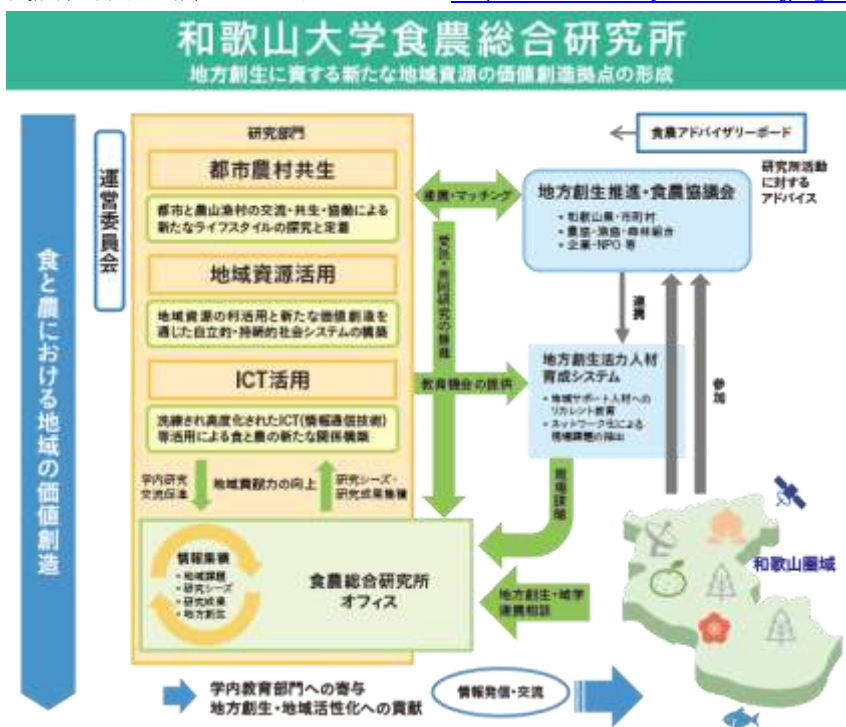
メールアドレスをお持ちの方は今後の連絡に活用させていただきたくメールでのご回答願います。

E-mail: tokyo@kourokai.com

■食農総合研究所について

食農総合研究所では、3つの研究ユニット(都市農村共生、地域資源活用、ICT活用)と食農部門の教育ユニットを設置しています。研究ユニットへの参加は毎年公募を行うとともに随時受付(登録申請)も行っています。様々な分野にまたがる「食と農」に関する研究活動を展開します。

食農総合研究所パンフレットはこちら http://www.wakayama-u.ac.jp/files/00156905/syounou_punf2018.pdf



③ 秋季ゴルフ会(11月)のご案内

8月度の厳しかった暑さの中、皆様、健康にお過ごしされましたでしょうか。

さて、柑芦会のゴルフ会を下記の日程案、場所(案)で実施したいと考えております。下記日程の中でプレイ可能な日を上げて頂きたい、返信宜しくお願い致します。最も参加者数の多い日、並びに希望する時間帯(9:20前後)で予約が取れる日をプレイ日とさせていただきます。場所案については、クラブバスが出て、比較的行き易く、コスト的にも高くなく、コースの綺麗なところを挙げております。

尚、勝手ながら、ご回答は 9月5日(水)までをお願い致します。

1. 日程案

11月12日(月)～15日(木)、19日(月)～20日(火)の間のプレイ可能日。(16日は既に予約が難しい為除く)

2. 場所案

A案: 本千葉CC (千葉県緑区大金沢町311) (アクセス)電車:JR. 蘇我駅

AM. 8:00発～クラブバスで約20分でゴルフ場着。

(プレイ費) 月: ¥9,500、火: ¥10,000、水～金: ¥10,800(昼食付・セルフ・税込)

B案: 市原京急CC (市原市馬立3022-13)(アクセス)電車:JR. 五井駅

AM. 8:20発～クラブバスで約25分でゴルフ場着。

(プレイ費)約¥12,000(昼食付・頸飾パーティ付・ドリンク付き・税込)

以上です。 お問合せ、お申し込みは以下まで。

幹事: 19期 田井利昭 Email toshiaki.tai@nifty.com

④ 観光学部公開セミナー「スポーツツーリズム ～メガイベントが日本社会を変える」に参加

柑芦会東京支部後援、和歌山大学国際観光学研究センターが開催した

「観光教育研究セミナー in 東京」に参加しました。

シリーズ第3弾は、早稲田大学スポーツ科学学術院教授の

原田宗彦氏を基調講演講師にお招きし、ポスト2020年に

向けたスポーツ都市戦略についてお話いただきました。



◆和歌山大学関連

○【ご案内】平成30年度ホームカミングデーの開催について

今年も和歌山大学では、平成30年10月27日(土)に大学キャンパス内において、「第8回大学ホームカミングデー」を開催いたします。今回も、課外活動施設を開放いたしますので、OB・OGの皆さんと現役学生の交流の場としてご活用ください。詳しくは、本学HPをご覧ください。【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/>】

○【ご報告】国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所長チャールズ・ボリコ氏による授業が行われました

2018年7月19日～20日、国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所長チャールズ・ボリコ氏による授業が経済学部で行われました。5月に和歌山の早和果樹園でも実施の、アグリビジネス・ユニット「ECアグリビジネス論」の最後の授業と、学部1年生対象の「プログラム概説」の授業に協力してもらいました。

詳細は、大学HPをご覧ください。

【 http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/faculty/faculty_curriculum/class_20180719.html 】

○【お知らせ】和歌山大学経済学部教員の公募について

和歌山大学経済学部では、「地域政策学」を専門分野とする方を1名募集しております。採用予定時期は、平成31年4月1日からです。

詳細は、大学HPをご覧ください。【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/news/2018051800034/> 】

○【お礼】和歌山大学説明会2018について

和歌山大学ではオープンキャンパスに引続き、平成30年8月26日(日)に大学説明会を開催いたしました。多数のご来場ありがとうございました。

○【お礼】和準硬式野球部の清瀬杯第50回全日本大学選抜準硬式野球大会出場に対する応援について

8月28日(火)から北海道札幌市麻生球場にて国立大学法人熊本大学と戦ってまいりました。柑芦会北海道支部の皆様もお越しください、学生のご家族や本学のミニ応援団(学長ほか11名)が一丸となり応援して参りました。結果は、初回の失点が最後までひびき、0対4で完封負けとなりましたが、初めての全国大会出場を果たし、学生達はまた一歩大きく成長したことでしょう。学生達が無事に試合をすることができましたのもひとえに柑芦会の皆様からのご寄附、ご支援があったからでございます。本当にありがとうございました。

なお、試合の様態等は、本学のツイッターにてご紹介しておりますので、ご覧ください。

【 https://twitter.com/wakayama_univ 】

●和歌山大学/鳥取大学合同ビジネス連携交流会のご案内

昨年度に引き続き、「AI・IoT技術による新たな価値創造へ」と題し、鳥取大学と和歌山大学が合同で企業の皆様に技術的課題に協力するための交流会を開催します。

【日時】平成30年9月26日(水) 13:00～(参加費無料)

【場所】グランフロント大阪(JR大阪駅北すぐ)C棟8階C05室

鳥取大学4名、和歌山大学4名の教員が各20分の講演、+ポスターによる質疑意見交換・相談など

【発表テーマと発表者】

「ビーコンを用いた見守りシステム」鳥取大学 准教授 高橋健一

「スキル学習支援環境」和歌山大学 准教授 曾我真人 などなど

詳細はコチラをご覧ください。 http://www2.cjrd.tottori-u.ac.jp/events_company/3632

参加申込は申込フォーム: <http://www2.cjrd.tottori-u.ac.jp/entry01.html>

【問い合わせ先】

和歌山大学 産学連携イノベーションセンター コーディネーターグループ 鈴木、前田、米田

TEL 073-457-7564 FAX 073-457-7550 E-mail liaison@center.wakayama-u.ac.jp

●アシストスーツ量産へ 和大発ベンチャー

装着することで、農業で働く人の体にかかる負担を減らそうと、和歌山大学名誉教授の八木栄一さん(69)が開発した「パワーアシストスーツ」が10月から量産化に向けて本格的に動き出す。重い荷物の上げ下ろしや中腰作業、傾斜地での歩行など農作業に必要な動作を想定して開発。現場での実証と改良を重ね、軽量化に成功した。

農業だけでなく、介護や物流、建設など各方面からも大きな期待が寄せられている。八木さんが代表を務める和大発のベンチャー「パワーアシストインターナショナル(株)」(和歌山市)が製造販売。まずは10月中旬から20台をサンプル出荷し、来年2月から年間100台をめどに量産出荷する計画となっている。1台約100万円で販売し、普及すれば価格は下がる見通し。

※詳細はこちら http://www.wakayamashimpo.co.jp/2018/09/20180901_81251.html

●和歌山大学ソーラーカープロジェクト



和歌山大学協働教育センター内のプロジェクトとして、学生の手でソーラーカーの設計・製作を行い、毎年レースにも参戦しております。

和歌山大学ソーラーカープロジェクト

<https://wadaisolarcar.wixsite.com/website-5>

和歌山大学ソーラーカープロジェクトは 2004 年に和歌山大学のクリエというセンターで発足しました。クリエは、教育・経済・システム工学・観光の 4 つの学部で学んでいる学生が、プロジェクトでの実践を通して自らの求める自主創造性を育む場です。私たちはクリエでソーラーカーのマシンの開発と製作を行い、8 月に鈴鹿サーキットで行われるレースに出場しています。「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP Solar Car Race Suzuka2016」クラス優勝、翌年、翌々年も表彰台に立っています。

「FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿」

4 時間の耐久レース。1周 5.807Km の鈴鹿サーキットのコース周回数で競います。ドライビングテクニックやエネルギーの計算、判断力などが求められる、静かで熱い戦いで、4 時間耐久のエンジョイⅡクラスに出場しています。

■俳句の会「芦火」 第 655 号 平成 30 年 9 月 1 日号

今月の表紙

秋の水・水澄む



柑
蘆
同
人
誌
平成三十年九月一日発行
九月号

第 6 5 5 号

2 0 1 8 . 9

清記を終えて

2

655号

○ 純一さんの散歩道の自然は百合と向日葵と百合の花が夏を彩り見事です。写真の解説も丁寧で理解が深まります。写俳も続いています。

○ 今月は高得点者が二人となりました。通常なら切捨て御免役はお二人ですが、としをさんは既に三回のお役目を終えておられますので、今月は先月に引き続き温州さんの担当となります。

○ 先にご紹介しました遊生さんが先月体調不良で出句、選句、服部緑地のスナップをお休みとなりましたので今月は「写俳」初めて純一さんのみとなりました。

○ 台風の前線に例年と異なる動きです。従来なら九州が受け持つ進路が大きく変わり、また上陸後に、左折するなど前代未聞です。異常気象は温暖化によるもの、ヒートアイランドによるものとの分析がありますが、間違いないとこれまでと大きく異なることは否定できません。

○ 猛暑日という言い方は平成19年から定義して使い始めた。夏日25度以上。真夏日30度以上。猛暑日35度以上と言う定義。さらに熱帯夜25度以上である。今年熱帯夜も30度を越える日があり、なんと表現するのだろうか。さらに40度を越えるところが出てくれば「酷暑日」とも名づけののだろうか。しかし俳句ではすでに「猛暑」「酷暑」は季節として使われている。「熱帯夜」も季節にあるので俳人は先取りをして季節をよんでいる。

○ 米中貿易戦争がどうなるか。自民党総裁選も国民にどううつるのか。暑い夏であるが目を離せない日が続く。せめて世界が平和であり続けることをこいねがうばかりである。

◎ 本号高得点者

20点 としを、温州 17点 恵吾 16点 純一 13点 たけし

12点 頭一郎 10点 安男 9点 草茨 かぞう、史浩 8点 穂心

◎ 本号高得点句

10点 稜線を歩く一団雲の峰

7点 鋭利って風新しき街薄暮

6点 断捨離のふんざりつかず登山靴

5点 空蝉や逝きたる人の日日疎し

5点 廃線の枕木覆ひ草茂る

5点 割り箸をするりと抜ける冷茶類

5点 手に受けて飲む水涼し山小径

5点 挨拶の日傘に日傘忘へけり

温州

としを

純一

たけし

純一

温州

かぞう

としを

惜しい！4点句 濟の緒を||穂心 団圓つと||草茨 水らへて||としを 夕焼雲||恵吾 石楠花や||たけし 駆け出す子||としを 路間ふて||頭一郎

次号赤匠(「切捨て御免」担当) 温州 (としを氏は三回実施のため)

- 次号兼題 秋の水・水澄む 秋の頃、水のあるところ、野外の水、器の水、くりやの水どこにあそ
- 水も名刀をといたように澄み渡る。水澄むは、秋はものみな澄み渡る季節であり水もまた美
- く澄む。水底までみえるような湖や川の美しさという。
- ・二またに纏るあはれや秋の水 蕪村 ・秋の水泥しつまって魚もなし 子規
- ・病む父のほとりに母や水の秋 長谷川權 ・水澄みて金蘭の金さしにけり 青歌
- ・水澄めりポケットにいま華のみ 日迫鉄父 ・これ以上澄みなげ水の傷つかむ上田五千石

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがでしょうか？

発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

OBOG 活動のお知らせ

■ 29期、平松真由美さん、オンステージ@武蔵野合唱団第51回定期演奏会に

～山田和樹 武蔵野合唱団指揮&横浜シンフォニエッタ創立20周年記念演奏会～



日時:2018年9月15日(土)開場 15:30、開演 16:00

会場:サントリーホール 大ホール

指揮:山田和樹 管弦楽:横浜シンフォニエッタ

独唱:ソプラノ 田崎尚美、澤江衣里 アルト 清水華澄、平山莉奈

テノール 望月哲也、櫻田 亮

バリトン 青山 貴、狩野賢一 合唱:武蔵野合唱団

後援:在日イスラエル大使館 武蔵野市

詳しくはこちら <http://musashino-chorus.com/>

■ 世界マスターズ陸上へ出場。M60 日本代表の水島鉄男(29期)さん

55歳で100m12秒36をマークし「マスターズ陸上」で日本一になった水島鉄男さんが、還暦を迎え、スペイン マラガで開催される世界マスターズ陸上に挑戦です。ひょっとしたら Live 中継があるかもしれません、ぜひ応援を。

https://malaga2018.com/GO/eng_index.htm

● 競技日程

予選 9月5日(水)13:10 (日本時間 20:10)

準決 9月6日(木)11:55 (日本時間 18:55)

決勝 9月6日(木)19:05 (日本時間 26:05)

参加 80名中、8位のタイムです。

ファイナリスト目指して頑張ってください。 →

60-64 Men 100m			
	Name	Affiliation	Mark
1	Val Barnwell	United States of America	11.5
2	Chester Wiles	Jamaica	12.05
3	Calvin Evans	United States of America	12.1
4	Guner Gungor	Turkey	12.48
5	Rudolf König	Germany	12.5
6	Harri Huotari	Finland	12.52
7	Gerhard Zorn	Germany	12.55
8	Tetsuo Mizushima	Japan	12.61

また、9月22~24日には全日本マスターズ陸上 in 鳥取にも出場されます。お近くの際にはぜひ応援よろしくお願
いいたします。<http://t-master.net/>

■ わかやま関連 Information

① 観光庁、10 大学で人材育成講座 宿泊施設の経営者など対象

観光庁は、地域の観光産業を担う中核人材を育成する講座を全国10大学で開く。旅館・ホテルの経営者や次世代経営幹部をはじめ、観光産業に従事している社会人が対象。各大学で参加者を募集している。講座内容は、経営戦略、財務会計、組織、マーケティング、ブランディングなど。業界有識者や大学講師による講義などが行われる。原則として全日程への参加が必要。受講料は無料。交通費、宿泊費などは受講者負担。

【和歌山大学】観光カリスマ講座

▽日程=10月25日、11月8日、11月29日、12月13日、 来年1月10日、その他の講座の詳細は未定

※詳しくはこちら <https://bit.ly/2N1QeL8>

② 和歌山市駅「グリーングリーン」プロジェクト」

南海電鉄和歌山市駅周辺の公共空間や地域資源を生かしてにぎわいをつくる社会実験「市駅「グリーングリーン」プロジェクト」(GGP)が、9月1日から実施される。ことしは歩行者天国を実施してきたこれまでのコンセプトを基に、地域資源である紀の川の河川敷を会場にした「シエキノカワでピクニック。」と、駅周辺の店舗で「市駅まちぐるみミュージアム」の二つのイベントを行う。

※詳しくはこちら http://www.wakayamashimpo.co.jp/2018/08/20180826_81135.html

GGPホームページ(<http://shiekigpp.wixsite.com/wakayama-ggp>)で。

③ 和歌山の魅力を現地で体験 県内への移住促進ツアー

和歌山県は、県内各地の魅力を知ってもらい新規移住者を増やそうと、現地での暮らしを体験できるツアーを企画している。「どのツアーも現地の魅力を十分に味わえるよう計画している。ぜひ和歌山の魅力を知ってもらいたい」と意気込んでいる。紀中から紀南地域を中心に計4回開催。1泊2日で2カ所の自治体をまわり、その地域に根ざした農業や漁業のほか、人気レジャーの体験、地元住民との交流などが楽しめる。

▽すさみ町、串本町(9月15、16日)

▽広川町、有田川町(同29日、30日)

▽那智勝浦町、田辺市(10月13、14日)ーで予定

※詳しくはこちら <https://www.sankei.com/west/news/180825/wst1808250020-n1.html>

④ ふるさと回帰フェア2018に出展

和歌山県のほか和歌山市、田辺市など計4ブースが国内最大級の移住マッチングイベント“ふるさと回帰フェア2018”に出展。和歌山での暮らし・住まい・しごと等について気軽にご相談いただけますのでぜひご来場ください。

○日時 2018年9月9日(日)10:00～16:30

○会場 東京国際フォーラム ホールE(有楽町駅から徒歩1分)

※詳しくはこちら <https://www.furusatokaiki.net/fair/2018/>

⑤ 和歌山大学の教員によるミニ講義

和歌山大学教員のわくわくする学問を紹介します！ 5名の先生の講義を公開中！

※詳細はこちら <https://yumenavi.info/portal.aspx?clgakocd=034610&mxorder=R>

平成30年度関西地区大学準硬式野球トーナメント大会報告ならびに 第50回全日本大学選抜準硬式野球大会(清瀬杯)出場へのご協力のお願ひ

和歌山大学準硬式野球部顧問 古井克憲 (教育学部准教授)

和歌山大学準硬式野球部 部員一同

向暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は和歌山大学準硬式野球部にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち和歌山大学準硬式野球部は5月3日(木)から開幕いたしました平成30年度関西地区大学準硬式野球トーナメント大会においてベスト4の成績を収め、8月27日(月)から開幕いたします第50回全日本大学選抜準硬式野球大会(清瀬杯)への出場権を獲得いたしました。全日本大学選抜準硬式野球大会への出場は創部以来初の快挙であります。これは和歌山大学はじめ和歌山大学準硬式野球部を日頃応援してくださる皆様のお陰と感謝しております。

ところで、北海道で開催される同大会出場に際して多額の資金が必要なことが判明してまいりました。部員、同窓会と資金確保に努力しておりますが、十分な状況ではございません。

誠に厚かましいお願いとは存じますが、野球部のさらなる発展そして野球部員達の文化的向上に資する全日本大学選抜準硬式野球大会に向けた活動へのお力添えを賜わりたく、「寄付金のお願ひ」をさせていただきたいと思ひます。

寄付金については、一口5千円でお願ひできればありがたいですが、志を賜れば幸甚に存じます。

銀行振込みの場合は、お手数をおかけいたしますが、下記口座に8月24日(金)までにお振込みの上、①～④について以下の宛先にメールまたは郵送にてお知らせ下さい。メールの場合、件名に「準硬式野球部寄付」とご記入ください。ご多端の折柄恐縮ですが何卒ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

振込先：紀陽銀行 延時支店 普通 434259

準硬式野球部 (ジュンコウシキヤキュウブ)

①ご氏名(ふりがな) ②ご連絡先(住所・電話番号) ③ご所属 ④ご寄付いただいた金額

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地 和歌山大学教育学部 古井克憲研究室

電話：073-457-7391

E-mail アドレス：kfurui@center.wakayama-u.ac.jp

●第9回 衆議院議員 門 博文 朝食勉強会のご案内

(政治資金規正法第8条2項の規定による政治資金パーティーです)

歴史学者であり作家でもあります宮脇淳子様をお招きし「日本人のための世界史 消された2つの帝国」と題し、講演いただくことになりました。つきましては大変ご多忙の事とは存じますが、何卒ご参加頂きたくご案内致します。

日 時:平成30年9月20日(木) 開場 7:30 ~ 開会 8:00~(1時間)

会 場:ルポール麹町 2階 「サファイア」 千代田区平河町2-4-3 03-3265-5365

講 師: 歴史学者・作家 宮 脇 淳 子 様

演 題: 「日本人のための世界史 消された2つの帝国」

会 費: ¥10,000- (会場受付も致します)

<出欠席のご連絡は以下FAXにてご返送願います>

お名前、ご住所、お電話番号をご記入の上、FAX番号までお願い致します。

誠に恐縮ですが、朝食ご用意の都合上、ご出欠のお返事を9月13日(木)までに上記

《FAX番号》 03-3508-3024

<お問い合わせ> 門 博文事務所 TEL:03-3508-7636 担当:戸田・染谷

文・編 47期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00~18:00 土曜日:9:00~15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com